

「2008年5月12日汶川地震（四川大地震）における建築物被害と復興に係わる調査活動の記録」をホームページに掲載しました

2008年（平成20年）5月12日14時28分頃（現地時間）、中華人民共和国・四川省汶（ぶん）川県を震源とするマグニチュード7.9（米国地質調査所の発表）の地震が発生しました。これを受け、国土技術政策総合研究所と建築研究所では、建築物被害と復興に関わる調査を行い、このたび、これらの活動の成果や活動を通じて収集した資料を「2008年5月12日汶川地震（四川大地震）における建築物被害と復興に係わる調査活動の記録」としてとりまとめ、ホームページに掲載したので、ご報告いたします。

【ホームページのリンク】

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/activities/other/disaster/jishin/2008shisen/index.html>

資料は、国土技術政策総合研究所と建築研究所が、2008年（平成20年）5月12日の地震発生直後に連携体制を整え、6月に北京で開催された中国・都市発展・計画国際フォーラムへの職員派遣を皮切りに、6～7月の政府調査団及び国土交通省調査団への職員派遣、11月の建築物被害と復興状況に関する現地調査の実施など、情報収集と復興支援のための技術交流を幅広く行ってきた活動の記録となっています。わかりやすい資料とするため、写真を多用していますので、建築の視点から四川地震に関心のある一般の方々を始め、研究・実務者に参考にしていただきたいと思います。

国土技術政策総合研究所及び建築研究所では、この汶川地震（四川大地震）から学んだ教訓を、今後のわが国における地震対策に生かすとともに、引き続き中国における地震被害の防止・軽減に向けた技術協力等を行ってまいります。

【目次（抜粋）】

- 第1章 目的
- 第2章 国土技術政策総合研究所及び建築研究所の活動の概要
- 第3章 地震及び地震動の特徴
- 第4章 現地調査と各地の被害状況

第5章 建築物の被害の特徴
第6章 震災復興の状況
第7章 中国の耐震設計基準
おわりに

【問合せ先】

国土交通省国土技術政策総合研究所
建築研究部長 西山功
電話：029-864-4278
E-mail：nishiyama-i92ta@nilim.go.jp

独立行政法人建築研究所
企画部企画調査課長 村上晴信
電話 029-879-0632
E-mail：haru-m@kenken.go.jp